

# 4 多様化する都市交通問題

自動車保有台数の増加やバス運行本数の減少、拡散する市街地などにより、仙台都市圏ではますます自動車に依存する傾向にあります。その結果、自動車の走行速度の低下や交通事故の増加、二酸化炭素排出量の増加、バスが定時運行できなくなるなど、都市交通問題は多様化してきています。

## 自動車交通に関わる問題

### 低速度走行を余儀なくされるピーク時交通

朝ピーク時間帯での自動車走行速度を見ますと、各方面の道路が集まってくる付近や河川にかかる橋りょう付近から速度10km/時の区間が連続しています。また、朝ピーク時間帯とオフピーク時間帯では、郊外部から都心への所要時間は方面によって大きく異なる状況にあります。特に、県道仙台泉線を利用した富谷方面、県道仙台松島線を利用した利府方面、国道4号を利用した名取方面から都心までの所要時間に関差が見られます。



図 ピーク時における方面別仙台都心までの自動車走行速度とオフピークとの所要時間差

※平成14年10月に郊外部から仙台都心(勾当台公園)に向かって自動車を走行させて計測した走行速度と所要時間による。  
 ※ピーク時は午前7時30分に郊外を出発、オフピーク時は午後2時に郊外を出発しました。